

2023年12月20日  
 阪神高速道路株式会社

## 第19期(2024年3月期)中間決算の概要

### 1. 連結決算の概要

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	2024年 3月期 中間期(A)	2023年 3月期 中間期(B)	増減		2024年 3月期 通期見通し	2023年 3月期 通期実績
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)		
<b>営業収益</b>						
<b>高速道路事業</b>	1,138	1,064	73	6.9%	3,760	2,315
料金収入	890	885	5	0.6%	1,777	1,768
道路資産完成高 <sup>(注)1</sup>	244	176	67	38.2%	1,978	540
その他売上	3	2	0	19.2%	4	6
<b>関連事業</b>	89	45	44	97.8%	278	190
受託事業	63	20	42	206.2%	217	131
その他の事業 <sup>(注)2</sup>	26	24	1	7.2%	61	59
セグメント間取引消去	▲1	▲1	▲0	-	-	▲3
	1,226	1,108	117	10.6%	4,038	2,501
<b>営業費用</b>						
<b>高速道路事業</b>	1,111	1,049	61	5.9%	3,757	2,300
道路資産賃借料	656	657	▲1	▲0.2%	1,312	1,315
道路資産完成原価 <sup>(注)1</sup>	244	177	67	38.2%	1,979	540
管理費用	210	215	▲5	▲2.3%	464	445
<b>関連事業</b>	84	41	43	102.7%	271	180
受託事業	63	20	42	203.6%	217	131
その他の事業 <sup>(注)2</sup>	21	20	0	1.9%	54	48
セグメント間取引消去	▲1	▲1	▲0	-	-	▲3
	1,194	1,090	104	9.6%	4,029	2,478
<b>営業利益</b>						
<b>高速道路事業<sup>(注)3</sup></b>	27	15	12	80.2%	2	14
<b>関連事業</b>	4	3	1	37.4%	6	9
	31	18	13	72.4%	9	23
<b>経常利益</b>	32	19	13	69.7%	11	25
<b>親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益</b>	27	16	11	68.6%	6	17

(注)1 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

2 関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業、事業者支援コンサルティング事業等を含んでおります。

3 高速道路事業の営業利益には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業に伴う損失が含まれております。

4 2024年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

## 2. 事業の状況

### (1) 概要

- 高速道路事業においては、通行台数が回復したことから、料金収入は前年同期と比較して増加し、管理費の**上期特性**※による影響もあり、中間決算では利益が発生しました。  
※ 補修工事等の完成が下期に多いことから、**管理費については、下期が上期よりも大きくなる傾向**にあります。
- なお、会社全体の通期見通しについては、料金収入の増加が見込まれるものの、管理費用は前期に比べて、安全・安心のための補修費用等の増加を見込んでいることから、当期純利益は約6億円(前年同期比11億円減)となる見込みです。

### (2) 高速道路事業

#### 【2024年3月期中間期の業績】

- 阪神高速道路の一日当たり平均通行台数は、通行台数が回復したことから、前年同期と比較し増加し、71.2万台(前年同期比1.3%増)となりました。  
また、料金収入は890億円(前年同期比5億円増)となりました。
- 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する道路資産賃借料は、656億円(前年同期比1億円減)となりました。
- 管理費の上期特性による影響が大きく、高速道路事業の営業利益は27億円(前年同期比12億円増)となりました。

#### (主なトピックス)

- ミッシングリンクの解消に向け、淀川左岸線(海老江JCT～豊崎)、淀川左岸線延伸部及び大阪湾岸道路西伸部(六甲アイランド北～駒栄)の整備促進に努めました。
- お客さまに最高の安全と安心を提供するため、喜連瓜破付近の橋梁の架替え工事など、構造物の長寿命化に向けた大規模更新・修繕事業を進めてまいりました。
- 「お客さま満足アッププラン2023」の取組みでは、企画割引「阪神高速ETC乗り放題パス2023」の販売をはじめ、3号神戸線リニューアル工事における京橋西行出口のカラー舗装の追加や京橋入口案内看板更新による誤退出・誤進入対策のほか、渋滞予測や渋滞回避ルート等の情報を発信するなど、お客さま満足の向上に継続的に努めてまいりました。

#### 【2024年3月期通期の見通し】

- 料金収入は、1,777億円(前年同期比9億円増)となる見込みです。
- 道路資産賃借料は、1,312億円(前年同期比2億円減)となる見込みです。
- 管理費用は、464億円(前年同期比19億円増)となる見込みです。
- この結果、高速道路事業の営業利益は2億円(前年同期比11億円減)となる見込みです。

### (3) 関連事業

#### 【2024年3月期中間期の業績】

- 受託事業は、淀川左岸線の工事受託等により、営業収益は63億円(前年同期比42億円増)、営業費用は63億円(同42億円増)となり、営業損失は41百万円(前年同期は営業損失31百万円)となりました。
- その他の事業は、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業、事業者支援コンサルティング事業等を展開したことにより、営業収益は26億円(前年同期比1億円増)、営業費用は21億円(同39百万円増)、営業利益は5億円(同1億円増)となりました。

#### 【2024年3月期通期の見通し】

- 関連事業の営業収益は278億円(前年同期比88億円増)、営業費用は271億円(同91億円増)、営業利益は6億円(同3億円減)となる見込みです。

**(参考)2024年3月期中間期の個別業績について**

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	2024年 3月期 中間期(A)	2023年 3月期 中間期(B)	増減		2024年 3月期 通期見通し	2023年 3月期 通期実績
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)		
<b>営業収益</b>						
<b>高速道路事業</b>	<b>1,135</b>	<b>1,062</b>	<b>73</b>	<b>6.9%</b>	<b>3,756</b>	<b>2,309</b>
料金収入	890	885	5	0.6%	1,777	1,768
道路資産完成高 <sup>(注)1</sup>	244	176	67	38.2%	1,978	540
その他売上	0	0	▲ 0	▲ 54.9%	0	0
<b>関連事業</b>	<b>68</b>	<b>25</b>	<b>42</b>	<b>166.2%</b>	<b>228</b>	<b>140</b>
受託事業	63	20	42	206.2%	217	131
その他の事業	5	4	0	1.4%	11	9
	<b>1,203</b>	<b>1,087</b>	<b>115</b>	<b>10.6%</b>	<b>3,984</b>	<b>2,450</b>
<b>営業費用</b>						
<b>高速道路事業</b>	<b>1,112</b>	<b>1,051</b>	<b>61</b>	<b>5.8%</b>	<b>3,763</b>	<b>2,309</b>
道路資産賃借料	656	657	▲ 1	▲ 0.2%	1,312	1,315
道路資産完成原価 <sup>(注)1</sup>	244	177	67	38.2%	1,979	540
管理費用	211	217	▲ 5	▲ 2.5%	471	453
<b>関連事業</b>	<b>67</b>	<b>24</b>	<b>42</b>	<b>173.6%</b>	<b>226</b>	<b>139</b>
受託事業	63	20	42	203.6%	217	131
その他の事業	3	3	0	3.4%	8	7
	<b>1,180</b>	<b>1,076</b>	<b>103</b>	<b>9.6%</b>	<b>3,990</b>	<b>2,448</b>
<b>営業利益</b>						
<b>高速道路事業<sup>(注)2</sup></b>	<b>22</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>113.7%</b>	<b>▲ 7</b>	<b>0</b>
<b>関連事業</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>▲ 0</b>	<b>▲ 15.9%</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
	<b>23</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>102.5%</b>	<b>▲ 6</b>	<b>1</b>
<b>経常利益</b>	<b>28</b>	<b>16</b>	<b>12</b>	<b>75.9%</b>	<b>▲ 0</b>	<b>6</b>
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>26</b>	<b>15</b>	<b>10</b>	<b>66.9%</b>	<b>0</b>	<b>7</b>

(注) 1 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

2 高速道路事業の営業利益には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業に伴う損失が含まれております。

3 2024年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。